

メッセージ

付加価値の高い総合的なITサービスを通じて 新たな領域での成長・拡大を目指していきます

株式会社NTTデータ 常務執行役員
パブリック&フィナンシャルカンパニー
公共システム事業本部長 岩井 利夫氏

グローバル領域での複数のプロジェクトが進行

NTTデータグループは、グループビジョン「Global IT Innovator」のもと、国内における大規模SI中心のビジネスモデルからの飛躍を図り、事業のサービス化、グローバル化を推進してきました。中央官庁や地方自治体などの行政分野、病院などのヘルスケア分野を中心に事業を展開する公共システム事業本部においても、付加価値の高い総合的なITサービスを提供していくことで、新たなビジネスの創出と、既存の枠を超えた民間・グローバルでの事業規模の拡大に取り組んできました。今年度に入り、日本の貿易手続き・通関システム「NACCS/CIS」を活用したベトナム国版「VNACCS/VCIS」がサービスを開始し、インドネシア政府から受託した国土空間データを共有するシステムが本格稼働しました。また、公共の上下水道分野における情報処理インフラの活用に向けた本格検討を開始するなど、海外でのビジネス展開を見据えた、複数のプロジェクトが進行しています。

バチカン図書館のデジタルアーカイブ事業に参画

今年の3月には、バチカン図書館と、同館に所蔵されている人類歴史遺産ともいえる手書き文献のデジタルアーカイブおよび長期保存を目的とした事業における契約を締結し、将来的には約8万冊全ての手書き文献をデジタル化する大規模プロジェクトがスタートしました。

本件提案に際しては、デジタルアーカイブ事業に係る業務・技術的有識者は勿論のこと、海外でのビジネスを進めるにあたり必要な知見を有するグローバル部



門、また提案の領域が幅広く多岐にわたることから、法務・財務部門や広報・知的財産・リスクマネジメントなど、関連業務のメンバーを集めた全社プロジェクトを立ち上げ、様々な課題の解決に一丸となって取り組みました。そしてバチカン図書館に対しては、NTTデータの国立国会図書館をはじめとする日本国内でのデジタルアーカイブシステム構築実績に加えて、大規模かつ継続的に作業を進めて行くためには、事業として進めていくことの必要性を訴え、専用基金で集めた資金を事業費として確実に充当していく事業モデルを提案し、採用に至りました。

NTTデータの実績を生かした人類史に対する貢献

本プロジェクトは、歴史的文献をデジタル化してコンテンツとして長期保存すると同時に、貴重な歴史・文化遺産を将来に継承していく、人類史に対する貢献です。NTTデータ、および公共システム事業本部の最大の強みは、確かな実績をあげてきたことと、この取り組みで得たノウハウと技術です。これらを結集し、本プロジェクトを成功へと導いていきます。